

令和7年度 沼津情報・ビジネス専門学校 学校自己評価・学校関係者評価 報告書 (令和6年度評価)

1. 教育理念・令和6年度教育方針の確認

〈教育理念〉

社会で自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈令和6年度教育方針〉

沼情のミッション「人と技術の共生する時代に、人として働き抜くための学びを」

- 知識を身につけ根拠を持って判断し、行動できる社会人へ
- 方向・進路 × 情熱・意欲 × 時間・積み重ね
- 今この時、その一瞬を大切に
- 人の力とデジタルで、自然あふれる地域を未来につなぐ

2. 評価項目の達成及び取組状況 の確認

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

※自己評価の平均は、小数点第2位を四捨五入する。平均値3.5未満は赤で表示。

（1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3.9
1-2	学校における職業教育の特色が明確に示されているか	3.9
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.9
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3.6
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.9
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ・教育理念並びに教育目標は、学生便覧に記載されており、入学時のオリエンテーションで入学生全員に周知されている。
- ・HPや学生便覧等で明確に示されている。またオープンキャンパス等でも説明している。

今後の改善方策

- ・これまでの学校案内には教育理念の記載がないため、2026年度版では記載を追加する。

学校関係者 評価コメント

- ・教育理念がしっかりしており目標をかかげて方向づけられている。生徒も自身の目的や将来にむけて進行されている。
- ・教育理念、および目標についてはパンフレット及びHP等で明確にされている。
- ・教育理念を大切にされていることが伝わってきた。
- ・教育理念、目標が学生に周知されており、今後もオープンキャンパス等で最もわかりやすく広げていただきたい。
- ・外部に発信する印刷物に教育目標をデザインとして入れ込むのはどうか。良い目標なので、

色々なところで目に留めてもらう。 ・入学時のオリエンテーション等で周知しているが、卒業までもつよう日常でも何か欲しいと思う。	
学校関係者評価平均 3.9	

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4.0
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.9
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.0
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.7
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.6
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.8
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.5
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.6
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.9
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3.5
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ・各授業科目の初回授業時にシラバスを配布、共有ファイルとしても閲覧できるようにしている。
- ・学生便覧に修業年限に対応した教育到達レベルを示し、それに合わせた学習時間を設定している。
- ・専門の講師からの意見を取り入れ、カリキュラムや教育方法を工夫し、開発している。
- ・1 年次より会社見学やインターンシップに参加するなど、関連分野における実践的な職業教育を体系的に位置づけている。
- ・半期毎に学校アンケート・授業アンケートを実施している。その結果を踏まえ、外部講師を含め授業内容の改善を図っている。
- ・各科目での評価方法をシラバスに示し、それらに基づいた成績評価を行っている。

今後の改善方策

- ・資格取得におけるカリキュラムの体系立てはできている。資格試験の結果に対する検証については更に強化する必要がある。

学校関係者 評価コメント

- ・各々の科が目標に向かい実践している。先が「見える化」されており、資格や実習にむけての教育がなされている。インターンシップや会社見学は大切である。

- ・ 学生便覧もわかりやすく作られており、カリキュラムも体系的。
- ・ 教育方法や学科においては十分に指導体制が位置づけられていると思う。
- ・ 頑張っていると思うが教員数が少ないように思う。
- ・ 教職員の皆様の並々ならぬ活動が伝わってくる。

学校関係者評価平均

3.8

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	3.9
3-2	資格取得率の向上が図られているか	3.5
3-3	退学率の低減が図られているか	3.2
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2
学校自己評価 平均		3.5

成果と課題

- ・ 就職に対する意識付けは入学時より継続して様々な機会に行っている。
- ・ 就職率 100%は常に目標としている。100%を維持するための施策も毎年練られている。
- ・ 資格取得のための対策授業や補講等を行い取得率の向上を目指しているが、目標値には届いていない。
- ・ 卒業生の動向について、積極的な把握に至っていない。

今後の改善方策

- ・ 主要資格については個別指導支援するなどできているが、検定資格は指導方法等見直しも必要。
- ・ 1年生の退学者が多く出ている。今後は学生への早期面談実施などの取り組みを今以上に進めたい。
- ・ 卒業生、企業様へのアンケート（卒業後1年目、3年目）を活用していく。

学校関係者 評価コメント

- ・ 就職率は良く、その後の活躍についても把握しているのは素晴らしい。退学は仕方なく、個々の問題であるため、全て学校側の問題ではないと思う。
- ・ 就職率 100%にむけた取り組みが評価できる。
- ・ 卒業生、企業へのアンケートが新しく始まったことなどは評価できる。
- ・ 現在の社会では退学率を0にするのは難しいと思うが、努力・改善されていることがわかった。卒業生については把握することがそのまま財産となり、在学生に提供できるメリットにもなると思うので今後さらに期待をしたい。
- ・ 教育活動を通じ、教育成果も出ている。
- ・ 退学、休学者の理由が示されると参考になる。
- ・ 退学者が減っているのは良い。入学前のミスマッチを検討。
- ・ 卒業生フォローのシステムがあるとよい。
- ・ 学生の精神的なフォロー、卒業生のフォローをよりお願いしたい。

学校関係者評価平均

3.5

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.7
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.5
4-5	保護者と適切に連携しているか	3.6
4-6	卒業生への支援体制はあるか	3.1
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.6
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	3.9
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
4-10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5
学校自己評価 平均		3.6

成果と課題

- ・担任と就職担当が連携し支援できている。また求人情報の提供等も整備されている。
- ・担任以外にも専門のカウンセラーに相談できる体制が整備されている。
- ・留学生に対する奨学金が少ないため、十分であるとは言えない。
- ・修学支援新制度の認定校となっており、入学前から案内をしている。
- ・保健室の設置、空気清浄機の設置、換気の徹底など、感染症対策、健康管理には気をつけている。
- ・必要に応じて保護者と連絡を取っているが、問題がない学生の保護者との接点は少ない。
- ・進路説明会やガイダンス等には積極的に参加し、キャリア教育や専門学校の説明が行われている。
- ・就職担当と協力の上、求人開拓を行い、求人数も増加している。
- ・学科の課外活動においては後援会からの補助を受けることができる。

今後の改善方策

- ・公的なものや学園のサポートプランはあるが、昨今の経済状況を考えるとさらなる充実が求められる。
- ・卒業生への追跡調査を実施。もう一步踏み込んだ仕組みが必要。

学校関係者 評価コメント

- ・卒業生アンケートという取り組みを上手に活用し、必要な支援を行ってほしい。
- ・卒業生を含めたキャリアサポート体制が、HP やパンフからは見いだせない。
- ・課外活動など学習活動以外の支援が地域に見えてくれば、さらに魅力的な学校、地域社会に必要な学校として広く認識されていくと感じた。
- ・進路や就職に関する支援をできるだけ整備し、情報を多く集めて学生が安心して活動できるようにしていただきたい。
- ・卒業後、退職した学生の再就職支援なども積極的にお願いしたい。

学校関係者評価平均

3.7

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	3.6
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか	3.7
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	3.8
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5
5-5	防災に対する体制は整備されているか	3.4
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.6
学校自己評価 平均		3.6
<u>成果と課題</u> ・各教室、各実習室に管理担当者が割り振られており、適切に管理を行っている。 ・必要に応じて学生への開放は行われている。 ・積極的に備品や消耗品整理が行われており、教育インフラに対する投資もしっかり行われている。 ・避難訓練や教職員への救護訓練を定期開催。危機管理マニュアル作成中。 ・課外活動に対してコロナ対応も落ち着き、少しずつ実施再開の動きは見せている。		
<u>今後の改善方策</u> ・インターンシップについては受け入れ先に依存。		
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・施設は十分であり、学生がやりたい時にやれる環境があると思う。 ・学生を預かる場なので、防災体制や危機管理マニュアルはきちんと整えてもらいたい。 ・防災の観点について、一般的な視点でみれば十分に配慮され改善が行われている。 ・企業とも連携して、インターンシップ等も充実させ、今後に繋がるような環境を整備してほしい。 ・保育科で”庭”（自然物）があるとよいが、外部活用を考えても良いかもしれない。 ・防災について、学内だけではなく地域との連携も重要である。 ・充実した環境で勉強ができていると思う。		
学校関係者評価平均		3.9

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4.0
6-2	募集要項の内容は適切か	4.0
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	3.9
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.9
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4.0
学校自己評価 平均		4.0
<u>成果と課題</u> ・入学案内・募集要項は毎年更新され必要な情報を志願者に提供している。 ・資格取得実績を HP で公開している。コンテスト入賞者や、就職先、資格取得など本人承諾の上で本校ホームページ上または新聞紙面にて公表されている。 ・教育成果は最新のものが OC、HP、パンフレット等で公表されている。		

<u>今後の改善方策</u>	
・ 学生募集活動は現在適切に行われ、妥当であるとの判断。	
<u>学校関係者 評価コメント</u>	
・ 必要な情報は丁寧に整理されて提供されていると思う。学納金は学生の満足度との関連性が高く、現状は妥当なものと考えてよい。 ・ 募集要項が明確にされており、わかりやすくとても良い。 ・ 人口減のなかで学生数が充実しているのはよい。 ・ 少子化に向けて、大学は毎日新規学生の見学を受け入れている。 ・ 応募者はほぼ受け入れている状況がうかがえるが、入学後の質の保障に苦慮しているのではないか。また、定員割れしている学科の対応をどのようにするのか。	
学校関係者評価平均	
3.9	

(7) 教職員組織・学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	3.7
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	3.4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	3.4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	3.5
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3.9
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	3.7
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	3.7
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	3.8
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4.0
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.7
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.3
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.8
7-19	自己評価結果を公開しているか	4.0
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4.0
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ・ 法人の人事評価制度により、適切なタイミングで目標設定と進捗確認、評価がされている。
- ・ 法人の人事評価システムで評価されていると思われるが、フィードバックがなく不明確である。
- ・ 内部組織間の連携は取れている。各所属レベルでの連携はその濃淡にばらつきがある。
- ・ 防災訓練は学科ごとには実施されているが、全体での防災訓練も必要だと思われる。

・理事長方針と担当理事方針が発せられ、それに基づく所属長方針をもとに部門にて実施計画を作成し実行している。 ・教員育成への取り組みやFDの成果を明確にするとよいと思われた。 ・必要に応じた意思決定がなされるようフロー、会議が実施されている。 ・人事・給与については法人の人事規程が整備されている。 ・システム化されてきてはいるが、業務が効率化されているかは疑問が残る。 ・少子化によるこれからの学生数の減少スピードが速いため、強固な地盤固めが必要と感じる。 ・定期的に会計監査が実施され適正に処理されている。 ・法令を遵守し適正な運営を行っている。 ・個人情報保護対策は取られているが、非常勤講師を含め知識の確認は必要だと考える。	
<u>今後の改善方策</u> ・非常勤講師への危機管理等周知の徹底。 ・必要なコストカットや適切な投資計画がなされているが、財政状況から更なる精査が必要である。	
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・ハラスメントなどの対応がされているのは安心。 ・有事の際は正教員であっても非常勤講師であっても学生の命を守る行動が求められる。非常時の危機対策管理はしっかりしてもらいたい。 ・体系的でシステム化された組織で運営されている。企業等でも全く問題がないという組織はなく、このような客観的な評価が効果を得ていると感じる。 ・しっかりと法令順守して、十分に管理されていると思う。 ・法人全体としての取組み、連携交流を心がけて欲しい。	
学校関係者評価平均	3.8

（８）社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	3.8
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	3.8
8-4	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.9
8-5	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.5
学校自己評価 平均		3.5
<u>成果と課題</u> ・地元小中学校と連携した授業を行う等、社会貢献・地域貢献を意識した活動がされている。 ・現在社会人に対するリカレント体制を整備中。 ・児童養護施設への誕生日ケーキプレゼントを毎月実施している ・留学生の受け入れに対し、適切な体制が整備されている。 ・地域への公開講座などは特定学科に限定されており、積極的に進める体制にはなっていない。		
<u>今後の改善方策</u> ・教育訓練給付制度講座指定認定校となり、今後積極的な取組みを検討していきたい。		

学校関係者 評価コメント

- ・ボランティアは人としての心を育てるのに大切である。
- ・地域活動など多くのイベントへの参加を積極的にしている様子がうかがえた。
- ・学外での行動は地域との連携がとれる。留学生との接点もお互いの文化交流として推進してほしい。また、子供にも学生の姿を見てもらうことは大切。企業にも出むいて実習や社会見学をする
と学生の幅が広がると思う。
- ・地域のために、公開講座や教育訓練を実施してもらいたい。
- ・学校のポテンシャルから考えると、地域連携や地域公開の部分でまだ貢献できることがあると
感じた。
- ・地域との交流をできるだけ深めて、今後も活動をしていただきたい。
- ・多くの学科でボランティア活動などを行い、社会活動にふれる機会を持ってほしい。

学校関係者評価平均

3.7

以 上